



広報 しぶかわ

SHIBUKAWA PUBLIC RELATIONS

新年のあいさつ	2
特集：21年度市民ふれあい議会	4
ごみ出しルールの10ポイント	10
市の臨時職員登録者を募集	11

謹賀新年



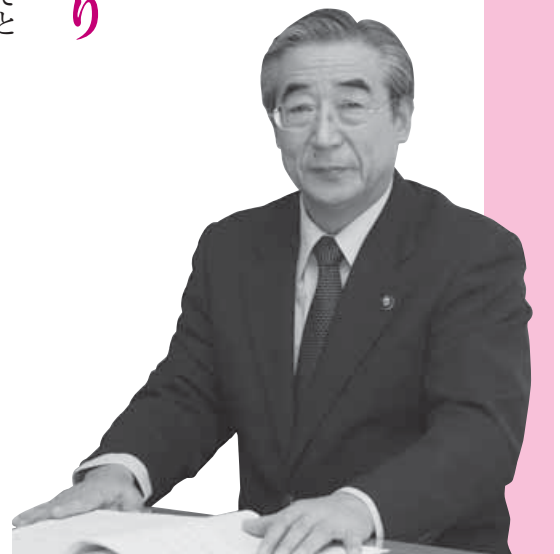
希望に輝く 上白井小学校6年生の皆さん

皆さんとともに 元気な「まち」づくり

市民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、経済面で百年に一度の不況、国政では政権交代、本市では前市長木暮治一氏の急逝と激動の一年でした。今年も、デフレスパイラルがひそかに進む中、円高、雇用不安と、厳しい経済状況の中でのスタートとなりました。

しかし、嘆いても仕方がないことです。市民の皆さんの総参加による元気なまちづくりに挑戦しようではありませんか。市民の皆さんと職員が創造と知恵と工夫を出し合い汗を流し、元気な浜川市をつくるために、目標に向かって団結したならば、この厳しい経済状況の中で、明るい光が見えてくると確信をしております。



市長 阿久津貞司

本市は、合併後5年を迎えようとしております。「浜川市総合計画」を基本にバランスの取れた地域づくりを推進しながら、財政健全化を目指す所存です。そして、私自身が、浜川市株式会社代表の気持ちで無駄を無くす努力をするとともに地域産業の振興のためにトップセールスも行います。また、教育や福祉の充実を図るべく財源確保に全力で取り組みます。

以上申し上げました考えを実行するに当たり、市民の皆様のご理解とご協力がなければ行いうことが出来ませんので、よろしく願います。結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年頭あいさつ

今年の干支は「寅」。寅年生まれの児童が含まれた、元気で明るい小学6年生に登場してもらいました。



笑顔輝く 南雲小学校6年生の皆さん

より良いまちの 実現にむけ全力投球

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたことと、市議会を代表してお慶び申し上げます。

昨年は、野球の世界一を決定するWBCが開催され、日本の2連覇達成の快挙に大きな感動を与えてもらいました。一方、「年越し派遣村」で幕を開け、さらに新型インフルエenzaが世界的大流行し、今なお感染が拡大し続けています。

国においては、未曾有の経済危機から定額給付金や高速道路料金値下げ断行など、相次いで経済対策が実施されました。そして歴史的な政権交代を成した民主党の新価値創造の公約で、特に国の新予算編成に向けて行政刷新会議による事業仕分け作業が執行され、その影響が懸念されるところであります。日本経済は、需

要の収縮等による雇用情勢の悪化やデフレ傾向にあり、国は早急な金融・雇用対策を迫られています。

本市は、市政に邁進された故木暮前市長の遺志を受け継がれ市民主体の行政へと阿久津市政が発足、合併節目の5年目を迎えました。さらなる市の一体化に向けた諸施策を着実に推進するものであります。

より豊かな住みよいまち実現のために、市議会として果たすべき役割と責任をもって適切な議会運営と活動の活性化を図り、全力で取り組む所存でありますので、本年もご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたします。



市議会議長 新井 晟久

合併により節減された 金の使い道は

6市町村による合併の効果として、経費の節減が図られたことと
思いますが、人件費の削減状況と
節約されたお金が市民のためにど
う使われたのかお聞かせくださ
い。



議長を務めた石井喜久男さん(吹屋)

合併前(平成17年度)と合併後(平成20年度)の人件費を比較すると、総合病院を除く一般職と特別職を合計した人件費削減額は約5億7、600万円(61人の減)、議員は約2億円(62人の減)、農業委員や各種審議会委員は約6、700万円(1、269人の減)となり、合計で約8億4、300万円の削減となりました。

市では、「渋川市総合計画」に掲げた個々の事業実施に向け、計画期間である10年間の中長期的な財政推計を行い、限られた財源を効果的かつ重点的に配分し、市民サービスの充実に向けた取り組みを進めています。

具体的には、これまでに、子育て支援対策としての幼稚園整備事業のほか、学校生活の安全確保のために小・中学校耐震補強事業などを重点的に実施しています。

(企画部)

私たちは、
こう考えます。

より良いまちづくりに



質問に答弁する市当局側



副議長を務めた真淵智子さん(伊香保町伊香保)

石段街に3台程度の 駐車場の整備を

店舗兼住宅が多い石段街では、高齢化が進み、店舗へ荷物を積み降ろす際、駐車場が不足していることから不便を強いられています。各所に3台程度止められる駐車場整備をお願いします。

市民の皆さんの意見や提案などを聴き、市政に反映させる平成21年度市民ふれあい議会が10月23日、北橋総合支所の旧村議会議場で開催されました。会議は、市議会の一般質問の形式で行われ各自治会から推薦された14人のふれあい議会議員は「まちづくり」について、それぞれの視点に立った活発な意見を述べました。

石段街周辺では、荷物の積み降ろしに利用するため、神社下休憩所の脇や防災道路脇などに、合わせて9台程度の駐車スペースを確保しています。石段街周辺は、地形的なことから駐車場を整備するための用地の確保が難しく、駐車場の整備につきましても大変難しいと考えています。しかしながら、市では、今年度から伊香保温泉再生事業による石段街の延伸工事に着手し、石段街を新たな伊香保温泉の玄関として整備をする予定です。石段街にとって、駐車場の整備は、商業活動や生活利便性の面で必要なものと思いますが、商店街の実情や実態からすると、まずは、観光面で効果が期待できる景観整備に取り組むことが先決と考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

(建設部)

※掲載する内容は、紙面の都合により、再質問と再質問の答弁を割愛してあります。



市民ふれあい議会議員・傍聴の皆さん

子どもの食育を考え 地産地消の推進を

現在の学校給食は、各調理場ごとに工夫を凝らした料理を提供しているようです。しかし、子どもたちの食育を考え、市全体で地産地消を意識した学校給食の取り組みをお願いします。



後藤裕子さん
(中郷)

市では、以前から学校栄養士会において統一メニューの検討を行ってきたところです。現在、月1回地場産物を取り入れた給食献立を実施しています。その料理の一例を挙げると、市内で生産された豚肉、こんにゃく、ニラ、みそを使った「渋川豚汁」があります。また、この取り組みは、給食だよりや当日の校内放送によって、児童生徒に周知し、市内でさまざまな食材が生産されていることを知ってもらっています。

なお、学校給食は、限られた時間に大量の調理をしなければならないことから、ある程度品質と規格がそろった食材が大量に必要となります。現在のところ、地場産の食材は、種類が限られているので農協をはじめ関係機関と協議し、種類を増やしたいと考えています。

(教育部)

庁用バスを今まで通り 使用できるように

赤城地区では、年1回庁用バスを利用した生涯学習活動を実施し、好評を得ています。しかし、今年から、その利用が廃止されると聞きました。そのことについて市の考えを聞かせてください。



ながゆき
石田永幸さん
(赤城町長井小川田)

赤城地区では、合併以前から自治会ごとに庁用バスを利用した生涯学習活動が自主的に実施されてきました。

庁用バスは、公務や市が主催する事業に使用するために保有していますが、公共的団体などの活動にも使用していただいています。しかし、公務による使用を優先しなければならず、限りある車両台数で対応するためには、ある程度の制限を設けなければなりません。

今回、庁用バスの使用に関して団体などによる使用のすべてについて対象外としたものではなく、限られた財産をできるだけ公平に使用していただくためのルールを定めたものです。皆様のご理解をいただき、今後も、庁用バスをより有効に活用していただければと考えます。

(総務部)

伊香保地区の市道整備 炭附街道の拡張を

伊香保終点バス停から伊香保観光の拠点である石段街までの道路は、観光客が便利で快適に歩けることが重要です。その整備の進捗よく状況と炭附街道の拡張について市の考えを聞かせてください。



細谷秀寿さん
(伊香保町伊香保)

市では、国のまちづくり交付金を活用し、伊香保再生事業として、道路整備についても順次整備を進めているところです。

伊香保終点バス停である「バスターミナル」から石段街までの道路は、痛みが激しく観光客が便利で快適に歩けるとは言い難い状況にあります。石段街へ通じる路地の整備につきましては、本年度中に横手館前の通りを実施します。なお、三丁目通りを含む路地についても順次整備していく予定です。

また、炭附街道の拡張工事ですが、その路線は住宅密集地にあり、多くの建物などの移転が必要となります。関係地権者のご理解とご協力をいただくには、相当な時間が必要であることや財政的にも早期に着工することは難しい路線であると考えています。

(伊香保総合支所)

新市の文化を創るため 祭りなどに補助金を

市民がその土地の文化を学び、継承する機会をつくるため、地区の祭りや地域学習会などに助成金を。また、人々が集いやすい吾妻川公園や大崎緑地公園などの連絡道や駐車場整備計画はありますか。



唐澤龍三さん
(金井)

市では、各地区において合併前から実施している祭りや納涼祭などについて、合併前と同様に実行委員会や自治会に対し、委託金や補助金として支援しています。また、生涯学習の推進や文化を学び継承するきっかけづくりのために出前講座のほか歴史資料館、公民館で行っている各種教養講座などを開催しています。

市では、まちなかに公園が少なくことから身近な街区公園の整備と「安全・安心な公園整備」の視点から老朽化した公園施設の改修が急務と考えております。吾妻川公園と大崎緑地公園の連絡道と駐車場の整備については、現時点で計画はありませんが、今後は、その必要性、利用状況、緊急性などを総合的に判断し検討していく必要があると考えます。

(教育部・建設部)

ボランティア団体には 施設利用料金の配慮を

福祉ボランティアなどが公共施設を利用する際の利用料の減免などについて配慮をお願いします。また、市民会館の使用料金は、福祉目的と興行目的の利用料金が同じなので、見直しをお願いします。



中村稔子さん
(有馬)

公民館の使用料については、今年4月から全市の公民館の使用料を「受益と負担の公平」を図り、「地域間の格差」を解消し、市の一体性を確保することを目的に極力低廉な使用料に統一しました。また、体育施設の減免基準の統一も図られました。

ご質問の市民会館については、市内の福祉ボランティア団体などが利用する場合には、減免制度を設けています。減免制度の適用を受けるには、団体の活動内容が分かる書類を添付した減免申請書を市民会館に提出し、事前審査を受ける必要があります。

今後も市の公共施設の維持管理に当たっては、健全運営および負担の公平などを踏まえ、適正な運営をしていきたいと考えています。

(教育部・企画部)

渋川地区の町名表示事業 その後の経過は

新市の発足に伴い「渋川市渋川〇〇番地」の表示となりました。住民説明会では「従来どおりの町名を復活して欲しい」との要望が多数ありましたが、その後の経過を教えてください。



南 守藏さん
(渋川/並木町)

新市の発足に伴い、大字表示が無かった旧渋川町地域をほかの地区との整合を図るために大字「渋川」とし、それまで「渋川市〇〇番地」だったものが「渋川市渋川〇〇番地」という表示になりました。市では、自治会名を通称町名として、合併前と同様に合併後も使えることを周知するとともに、「広報しづかわ」などでも自治会名の表示が可能なものは表示しています。

また、関係する自治会から、各自治会名を大字名にするよう要望が出ています。市では、この要望を受け、各自治会名を大字名とした場合、市役所の各種台帳などの変更に要する経費、住所変更に伴う市民や法人の負担などについて調査検討を行うため、司法書士などによる専門的な委員会を設置する予定です。(市民部)

※11月24日、町名表示検討委員会が設置されました。

中心市街地の空洞化に積極的な住宅対策を

中心市街地で空洞化現象が進む中、区画整理事業により四ツ角周辺に空き地が目立ちます。若い人を呼び戻し活性化させるため、固定資産税の軽減など、市内にマイホームがもてる政策を希望します。



上原邦夫さん
(渋川/辰巳町)

本市では、昨年度策定した「中心市街地活性化プラン」の具体的な取組方針により「まちなか居住の推進」が定められています。計画では、中心市街地に住宅を建設する事業者やまちなかへ居住する人への支援などを検討していくことになっています。

「中心市街地の活性化」は、市の総合計画の重点プロジェクトに位置付けられています。市では、長期的な視野に立って都市機能が集積し、まちの顔である中心市街地を活性化させていこうと積極的な施策を進めています。

なお、固定資産税の課税については、地方税法の規定に基づいて行っています。特定の地域を限定した税の軽減措置については、税の公平の観点から認められていませんので、ご理解をお願いします。

(経済部・総務部)

下水道料金の算定根拠どのようにしたか

市では、自家用水や組合水道、温泉スタンドで買った温泉を家庭の風呂に使用した場合など、市の水量計エックが無い場合の下水道料金の算定をどのようにしているのでしょうか。



都丸 昇さん
(北橘町八崎)

下水道使用料の算定方法は、市の条例で定められており「水道水を使用した場合は、水道の使用水量とする」と規定されています。

自家水道や組合水道を使用していて、量水器の設置が可能な場合は、市で量水器を貸与し、その検針結果に基づき使用料を徴収しています。なお、量水器の設置が困難な場合には、使用者の使用の様態などにより、その排除量を算定します。また、温泉スタンドなどで温泉を購入し、自宅の風呂で使用的場合、その汚水は下水道に流入し、終末処理場で処理されることになりますが、実態を把握することが困難なことから、現状では使用料を徴収していません。

なお、恒常的に使用している場合につきましては、今後検討していきたいと考えます。

(水道部)

今後の地域医療と渋川総合病院の役割は

赤城地区にある2つの市国保診療所の統合について、その費用や意義、利用者のメリットなどについて、また、渋川総合病院の果たす役割と地域の医療機関との連携についてお聞かせください。



角田美智子さん
(赤城町勝沢)

市国保診療所の統合は、診療体制を1カ所に集約し、強化することで、地域医療の充実と高額な医療機器の更新など、運営経費の縮減による効率的な運営を図ることを目的として行われます。また、統合による往診範囲の拡大と休診日の解消、外来診療時間の拡張など、利用者のメリットが期待されます。なお、新たな診療所の建設費用は、約2億円かかりますが、国庫補助金のほか、財源の3分の2が交付税で措置される合併特例債を活用することになります。

渋川総合病院では、救急医療、地域医療の連携などを運営の柱としています。地域の医療機関から患者紹介を受けたり、群馬大学エムアールアイなどの高度医療機関へ紹介やMRIなどの検査予約を受けるなど、医療機関の間で連携を図っています。

(市民部・渋川総合病院)

交通に支障をきたす 木などの伐採は

交通などに支障のある木の枝や竹などは所有者が伐採すべきと思いますが、所有者が高齢で伐採が困難な場合や近くに住んでいないことから伐採をしてもらえないことはどうしたらよいでしょうか。



野村 進さん
(小野子)

道路を通行する車両や歩行者に対し支障のある樹木や雑草の処理は、その土地の所有者や使用者などが適正に管理すべきと考えます。しかし、緊急を要するものについては、市が速やかに対応することとしています。なお、土地所有者が高齢であったり、近くに住んでいないことなどから管理ができないという場合は、地元自治会などを通して相談してください。また、処理方法が分からない場合には、土木管理課または各総合支所の経済建設課へ相談してください。

いずれにしても、道路管理者の立場から、道路に突き出た樹木などにより交通事故等が発生しないよう、定期の道路パトロールで得られた情報に基づき、必要により指導などを行い、適切な維持管理に努めたいと思います。

(建設部)

学力格差を是正するため に公教育の充実を

公教育の充実、子育てをする親にとって、その町での子育てを考える重要なポイントになると思います。学力格差をなくすため、学校での学力向上に対して、どのような方策をお考えでしょうか。



田中美知栄さん
(北橘町上南室)

市では、各学校に学力向上に関する担当者(教員)を置き、学校の代表者である校長とともに「学力向上対策委員会」という会議の中で本市の学力課題について検討し、改善策を考えています。

各学校においては、複数の教師が一つの学級に入って細かな指導をするチームティーチングや、一つの学級を分割した少人数指導を行ったり、群馬大学の学生や地域の皆さんにボランティアとして教師と一緒に指導していただいたり、学習の手引きを作成し、家庭学習を充実させたりするなど、さまざまな取り組みを行っています。

今後も、児童・生徒の一人ひとりの自己実現が図られるよう、さまざまな手立てをとっていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

(教育部)

公的保育制度の拡充 市の考え方は

現在、国では保育制度が大きく変わろうとしています。公的保育制度の拡充について、市の考え方を聞きます。また、市議会に請願し、国に意見をあげるにはどのような手続きが必要でしょうか。



綿貫サツキさん
(石原)

国では、公的保育について現行の市町村が利用者の希望を聞きながら入所先を割り振る制度を改め、利用者が直接申し込んで契約する制度に変更する方針が示されています。これには、多くの保育関係団体が反対を表明しているようです。市議会でも、昨年、内閣総理大臣などに「福祉施設・保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう求める意見書」を提出しています。

請願書を市議会に提出する場合は、1人以上の紹介議員が必要です。請願書には、請願の趣旨などを記載し、市議会議長に提出します。議会で審議し、採択された請願書は、意見書として国などの関係行政庁へ提出されることになります。

(保健福祉部・総務部)

※今年度の市議会第7回定例会(12月)で現行の公的保育制度の堅持等に関する意見書が採択されました。

うっかり忘れていませんか？ごみ出しのルール

ルール違反が思わぬ事故につながることも

もう一度確認してほしい10のポイント

最近、ごみの出し方のルールを守らない人が見受けられます。次のルールを必ず守るとともに、ごみの減量化と資源のリサイクルにご協力をお願いします。

①ごみは、自分の自治会の決められた集積所に出しましょう。
②古紙類、ビン類（ビールビンと一升ビンのみ）、空き缶などの金属類は、地元団体が行う資源ごみの集団回収へ出しましょう。



火災が発生したごみ収集車

③市指定ごみ袋や粗大ごみシールに、自治会名と氏名を書いて出しましょう。

④夜間にごみを集積所へ持ち出すのはやめましょう。

⑤ペットボトルは、ふたを取り、中をすすいで、ラベルをはがさずに出しましょう。

⑥家電4品目（テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機）とパソコンは、ごみとして出せません。家電4品目は小売店などに、パソコンは製造会社や小売店などに、それぞれ引き取ってもらってください。

※引き取りは有料です。
⑦廃食用油は、市役所本庁舎、第二庁舎、各総合支所および各地区公民館に回収コーナーがあります。ペットボトルに入れて

出してください。

⑧事業所や商店などから出る事業系一般廃棄物は、市では収集しません。各自で直接清掃センターへ搬入するか、一般廃棄物収集運搬許可業者と契約し、引き取ってもらってください。

■ルール違反であわや大惨事

昨年、一部の人のルール違反により、ごみ収集車両の火災が発生しました。次の2点は必ず守ってください。

①使い捨てライターは、使い切ってから出しましょう。

②カセットボンベ、スプレー缶は、使い切ってから、火気のない屋外などで、必ず穴をあけて出しましょう。

詳しくは、環境課（☎22114）へ。

第2次浜川市行政改革大綱の策定に向けて

1月23日までに行政改革大綱の案について意見を

市では、市民サービスの維持と一層の向上を図るために、平成18年度から21年度を計画期間

として、市行政改革大綱を策定し、取り組んできました。

この計画期間の終了を受けて、

これまでの改革を更に実りあるものとするために、新たな視点で制度や仕組みの改革を目指す

立候補予定者等説明会を1月14日に開催

農業委員会
委員選挙
2月21日

市選挙管理委員会では、市農業委員会委員選挙の執行日を2月21日（日）に決定しました。

この選挙に当たり、立候補予定者などの事務説明会を次のとおり開催します。

立候補届出の手続きなどの説明をしますので、立候補予定者などは、

必ず出席してください。

とき 1月14日（木）午後2時

ところ 市役所本庁舎3階大会議室

持参するもの 筆記用具など

その他 来場者は1候補者につき3人以内とってください

問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局（☎22111・内線4211）

市の臨時職員登録者を募集



職種は多彩／資格はあってもなくても大丈夫

臨時職員として勤務を希望する人は必ず登録を

平成22年度に市の臨時職員として勤務を希望する人の登録を受け付けます。

職種 ▷資格が不要な職種＝一般事務補助、調理(給食等)、各種施設職員、作業員など

▷資格が必要な職種＝保育士、看護師、保健師、助産師、栄養士、運転手など

勤務地 市役所本庁舎または各総合支所、市有施設など

賃金 職種ごとの賃金による(毎月末締め、翌月20日払い)

勤務時間 原則1日7時間45分以内

※職種により、土・日曜日、祝日の勤務があります。

加入保険 勤務形態により社会保険(健康保険・厚生年金)、労働保険(労災・雇用)に加入

任用期間 6カ月以内(最長1年以内を原則)

登録方法 履歴書(市販のものに写真を張り付け、希望の職種がある場合は明記)を職員課または各総合支所総務課へ提出

※履歴書を提出した時点で登録されます。

※平成21年度の募集で登録した人も改めて登録が必要です(自動更新はしません)。

登録の有効期限 平成23年3月31日

採用方法 臨時職員を必要とする職場から登録者に連絡した後に選考(面接など)し、採否を決定します

その他 登録しても必ず採用されるとは限りません
※臨時職員に採用されると、地方公務員法の適用を受け、業務上知り得たことについての守秘義務が生じます。

問い合わせ先 職員課(☎2362)

皆さんの意見や提案

計画として「第2次渋川市行政改革大綱」を策定します。

今回、第2次市行政改革大綱の案を供覧・配布しますので、案に対する皆さんの意見をお聴かせください。

案の供覧・配布場所 企画課、本庁舎市民ロビー、各総合支所総務課(土・日曜日、祝日を除く)

※案は、市ホームページ(<http://www.city.shibukawa.gunma>・

で)で見ることができます。

応募方法 応募用紙(様式は問いませんが、供覧場所に意見記入用紙があります)に、氏名(団体名)、住所、電話番号を明記して、持参、郵送、ファックスまたはEメールで企画課(〒377-8501・石原80・FAX 246541・gyokaku@city.shibukawa.gunma.jp)へ

※電話では受け付けません。

※意見記入用紙は、市ホームページ

ージから印刷できます。

募集期間 1月4日(月)～23日(土)(必着)

公募結果 提出された意見などは、整理・要約し「広報しぶかわ」と市ホームページで公表します

※意見以外の個人情報などは、公表しません。また、意見に対して個別には回答しません。

問い合わせ先 企画課(☎2401)

調査にご協力ください／2010年世界農林業センサス

平成22年2月1日現在で、全国一斉に「2010年世界農林業センサス」が実施されます。

これは、この国の農林業や農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。農林業を行っている農家、林家、法人などを対

象に、5年ごとに実施されます。

1月下旬から農林業を営む人のところに調査員が伺いますので、聞き取り調査や調査票の記入にご協力をお願いします。

詳しくは、広報情報課(☎2320)へ。

【主な調査項目】

- ・世帯員の就業状況
- ・農地や山林の面積
- ・農林産物の生産・販売の状況
- ・農林業の労働力や作業受託の状況など

本市の公害についての状況

年々増えつつある公害に関する苦情

人の健康や生活環境に被害をもたらす大気汚染や騒音などの公害。本市では、20年度中に133件の公害に関する苦情を受けました。この苦情件数は、環境への住民意識の高まりとともに、年々増加傾向にあります。今回は、本市が20年度に受けた公害についての苦情の詳細をお知らせします。



不法投棄されたごみの撤去作業

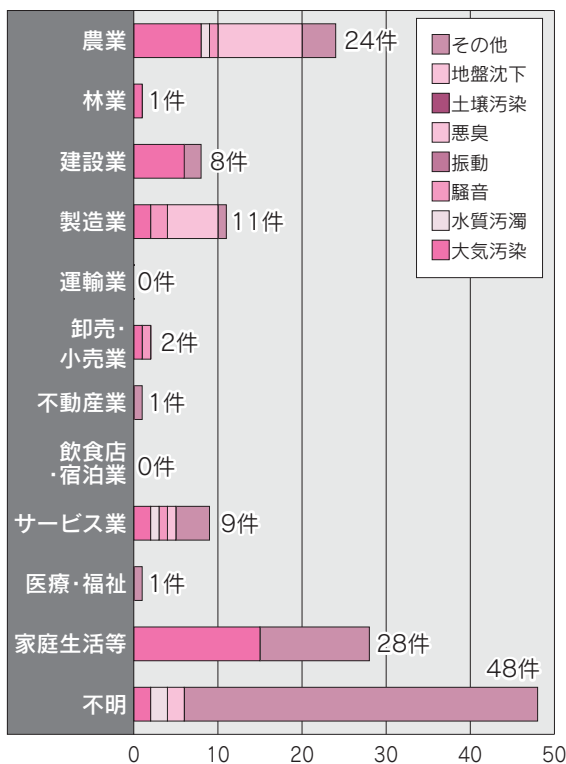
苦情の状況の概要

平成20年度の苦情処理件数133件の内容は、典型7公害(大気汚染・水質汚濁・騒音・振動・悪臭・土壌汚染・地盤沈下)に関する苦情が65件あり、このうちで多いものは、大気汚染(37件)と悪臭(19件)でした。その主な原因は、ごみなどの焼却によるものです。典型7公害以外では、ごみの不法投棄や空き地などの雑草の繁茂が多くなっています。

発生原別で、最も多かったのは、家庭生活などに起因するものです(下図参照)。これは、不特定多数の人が原因

守り育て未来につなぐ
私たちの環境 10

苦情の発生源別件数



苦情に対する市の対応

本市の苦情対応は、渋川地区を環境課、渋川地区以外を各総合支所市民福祉課で行っています。電話や投書などで苦情を受けると、現地調査を実施し、状況に応じて発生源者に指導や要請などを行っています。

また、地域別では、中心市街地から外れた地域での苦情が多く、月別では、春先から秋にかけて比較的多くなっています。

公害を出さないために

苦情で特に多いのは、大気汚染です。野外で、ごみなどを焼却することは、原則として禁止されています。焼却行為は、付近の住民に迷惑をかけるだけでなく、環境に悪影響を与えることになります。市指定ごみ袋に入れて、燃えるごみの収集日に出してください。全員が快適な生活を送れるように、一人ひとりが日常生活で環境保全に対する意識の心掛けをお願いします。

詳しくは、環境課(☎2114)へ。

このごろの職場では、男性に限らず女性の活躍も見られるようになり、働く女性の姿は、珍しくなくなりました。男性も女性も就労により生活基盤を確立し、それぞれの能力を発揮できることは、男女共同参画社会として目指すところです。

そのためにも、男性と女性が性別による差別をされることなく、対等なパートナーとして働ける環境整備が重要になります。

しかし、「男性だから」「女性だから」という理由で、必ずしも待遇が平等ではない現状もあります。セクシ

—— 男性と女性が対等に働ける職場づくりを ——

ユアル・ハラスメントを受けたり、産休育休を理由に退職を迫られたり、介護休暇がとれなかったり、制度は整備されていても現実にはさまざまな問題にぶつかることがあります。

本市では、男女が対等なパートナーとして働くこと

ができるまちを目指して、労働関係の法律・制度の紹介や労働相談員による労働相談を実施しています。男性も女性も対等に働き、ともに力を合わせることができる職場づくりを推進しましょう。

(市民生活課)

4つの基本目標

- ① 男女平等意識の高揚と人権尊重
男女の人権が大切にされるまちにしましょう
- ② 家庭における男女共同参画の促進
未来の人づくりと健康づくりのめとなる家庭を応援するまちにしましょう
- ③ 地域社会における男女共同参画の推進
誰もが地域の担い手になれる“ほっと”なまちにしましょう
- ④ 就業における男女共同参画の推進
男女が対等なパートナーとして働くまちにしましょう

隔月連載

隔月連載

消防団は、火災発生時における消火活動や地震、風水害といった災害発生時の活動だけでなく、平常時においても、地域における消防・防災の中心的な存在として、消防力・防災力の向上のため、地域の防災訓練などに参加しています。

訓練では、団員が習得した消防・防災に関する知識や技術を生かして、消火器の使い方



真剣に消火訓練を行う団員と地域の人たち(石原3地区合同防災訓練)

—— 地域の防災訓練に参加しています ——

やバケツリレーの仕方、応急担架の作り方など、各種訓練に対する指導や助言を行っています。また、このほかにも地域住民との連携を図るため、防火対策の相談を受けたり、消防ポンプ自動車を展示するなどして、防災機材の紹介や解説も行っています。

(行政課)

消防団員・ラッパ隊員の募集

地域の人を災害から守る消防団員を募集しています。また、消防団の式典などでラッパ吹奏を行うラッパ隊員も併せて募集しています。

経験や性別は問いません。18歳以上で興味のある人は、行政課行政防災グループ(☎22112)へ問い合わせてください。

伊香保世代間交流館の「クリスマス会」

歌や劇などで盛り上がった楽しいクリスマス会



12月6日に伊香保世代間交流館のクリスマス会が行われました。参加した児童や招待された地域のお年寄り、子育てサポーターの人たちは、それぞれ用意してきた劇や歌、合奏などを披露し、会場は笑顔や笑い声であふれました。また、サンタクロースも登場し、子どもたちはプレゼントをもらうなど、楽しい一時を過ごしました。

読み聞かせと劇を披露
(左) 老人会の皆さん
との合唱(右上) クイ
ズを出します(右下)

北橘歴史資料館で「お正月飾りづくり教室」

「お顔がくし」などのしめ縄づくりで新年の準備万端

近ごろ、家庭で手作りするのが珍しくなった「お正月飾り」。その作り方と意味を学ぼうと12月13日に北橘歴史資料館で「お正月飾りづくり教室」が開催されました。参加者は「お顔がくし」や「中シメ」などのしめ縄づくりに挑戦。稲わらの扱い方に苦戦するも、次第にコツを覚えて立派なしめ縄を完成させました。



「お顔がくし」づくりに挑戦

市民サポーターが「渋川まちなかイルミネーション」を開催
 渋川ネイブルスクエアが青などの電飾で華やかに



まちなかににぎわいを創出しようと渋川ネイブルスクエアで12月5日、中心市街地まちづくり市民サポーターが「渋川まちなかイルミネーション」を開催。雨が降る中、午後4時に円錐形のメインのオブジェに灯りが灯されました。また、メンバー手作りのペットボトルを利用したろうそく飾りやゴスペルコンサートも行われました。

高さ5.5mのメインオブジェ(左) メンバー手作りの「ろうそく飾り」(右上) ゴスペル星組がクリスマスソングを披露(右下)

赤城地区で「地域の活性化」をテーマに市長との「対話集会」
 販路拡大の方法や後継者問題などについて意見交換

市民が市の幹部と意見を交換し合う「対話集会」が、11月26日に赤城総合支所で開催されました。今回は「地域の活性化」をテーマにして、赤城地区生産者協議会などの16人が参加。農畜産物の販路の広げ方や後継者問題など農業に関する話題を中心に、地域の景観づくりに関する話など、活性化につながる意見が飛び交いました。



市長の説明を真剣に聞く参加者

お知らせ

市長の資産などを公開

行政課 ☎22112

市長の資産等報告書の閲覧を次のとおり行います。

閲覧開始日 1月4日(月)

閲覧時間 午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)

閲覧場所 行政課

消費者行政活性化講演会

市民生活課 ☎22463

とき 1月30日(土)午後1時30分

ところ 市民会館大ホール
内容 「生活を豊かにする経済学」～消費者が主役の社会を目指して～

講師 森永卓郎さん(獨協大学教授・経済アナリスト)

入場料 無料(要入場整理券)
整理券配布場所 市民生活課、各総合支所市民福祉課、市立



森永卓郎さん

図書館、各地区公民館

その他 託児(1歳～未就学児)を希望する人は、1月20日(水)までに市民生活課へ連絡してください。また、手話通訳を希望する人は、当日入場の際に申し出てください

徳富蘆花追悼お茶会

徳富蘆花記念文学館 ☎22237

18日の徳富蘆花の月命日に蘆花をしのんでお茶会(初金)を開催します。

とき 1月18日(月)午前10時～午後3時

ところ 徳富蘆花記念文学館
内容 静翠会(せいすいかい)の皆さんによるお茶会(和菓子付き)

参加料 500円

参加方法 当日会場へ

児童・生徒の就学援助申請

学校教育課 ☎22121

援助内容 学用品費、学校給食費、修学旅行費、校外活動費など

対象者 市内の小・中学校に就学中または就学予定で、経済的な理由で就学困難と認められる児童・生徒の保護者(生

入学指定通知書を配布します

学校教育課 ☎22121

平成22年度の小学校入学該当者に入学指定通知書を配布します。

入学該当者 平成15年4月2日～16年4月1日生まれの子ども

配布方法 ▷渋川地区＝郵送
▷伊香保・小野上・子持・赤城・北橘地区＝幼稚園・保育園(所)を通じて配布(在園児以外と一部私立の在園児は郵送)

配布時期 1月上旬

その他 通知書が届かないときや氏名・住所などに変更があった場合は、学校教育課に連絡してください

募集

黒井峯遺跡で遊ぼう「天体観測会」

文化財保護課 ☎22102

とき 1月23日(土)午後6時～7時ごろ

活保護法に基づく教育扶助の受給者は除きます)

申込方法 就学援助費交付申請書(各小・中学校にあります)に記入し、子どもが就学している学校または就学予定の学校へ提出

その他 申請の際は、各小・中学校や各地区の民生委員児童委員に相談してください

※家庭の経済状況や生活状況によっては、援助が受けられない場合があります。



※雨、雪、曇りのときは中止。

集合場所 子持中学校正門前駐車場

ところ 黒井峯遺跡

内容 天体観測会および望遠鏡とデジタルカメラを使つての月の撮影

講師 県立ぐんま天文台職員

対象者 市内在住・在勤の人

参加料 無料

持参するもの カメラ機能付き携帯電話、デジタルカメラ

(一眼レフなどの大型カメラは不可)

申込方法 電話で文化財保護課へ

申込期限 1月20日(水)(土・日曜日、祝日は除く)

- 伊香保総合支所 ☎72-3155 □ 赤城総合支所 ☎56-2211
 □ 小野上総合支所 ☎59-2111 □ 北橘総合支所 ☎52-2111
 □ 子持総合支所 ☎24-1211



「広報しぶかわ」 「市議会だより」 つづりの 有料広告を募集

市では、「広報しぶかわ」と「市議会だより」を保管するためのファイル「広報紙つづり」を製作し、3月に皆さんに配布する予定です。これは、国からの臨時交付金を受けて、昨年定められた市の花や木、鳥などを周知するために製作するものです。

今回、つづりの発行にあたり、裏表紙に掲載する有料広告を募集します。このつづりは、広報紙などを1年以上保管できるので、その間広告の効果が続きます。掲載を希望する人は、ぜひ、申し込みください。

掲載位置 広報紙つづり裏表紙

規格 縦5.0cm×横8.9cmのカラー刷り

募集対象 市内に事業所があり、市税を滞納していない個人または法人など

※掲載できる広告には要件があります。

募集区画 10区画(超えた場合は抽せん)

掲載料(1区画) 3万円

申込方法 「渋川市広報紙等つづり広告掲載申請書」(広報情報課にあります)に必要な事項を記入し、郵送または持参で広報情報課(〒377-8501・石原80)へ

※申請書は市ホームページ(<http://www.city.shibukawa.gunma.jp/>)から印刷できます。

申込期間 1月12日(火)～29日(金)(必着)

詳しくは、広報情報課(☎22320)へ。

そば打ち体験参加者

赤城総合支所経済建設課

☎56-92550

〈そば打ちと豆腐づくり〉

とき 1月20日(水)午後1時～

4時

ところ 赤城農畜産物加工研修所

定員 10人(先着順)

参加料 800円(材料費・当日集めます)

持参するもの エプロン、三角きん、ゴム手袋

〈そば打ちといちご狩り〉

とき 2月7日(日)午前9時～

午後4時

ところ 赤城保健センター

定員 30人(先着順)

参加料 2,500円(材料費・当日集めます)

持参するもの エプロン・三角きん

※各日程とも、申し込みは、開催日の5日前までに電話で赤城総合支所経済建設課へ。



そば粉をこねて本格手打ち

福祉

渋川老人福祉センター からのお知らせ

渋川老人福祉センター

☎23-1765

〈ふれあい浴場〉

とき 1月24日(日)

内容 渋川老人福祉センター内浴場の無料開放(市民のみ)

〈無料巡回バスの運行〉

とき 毎週日曜日

コース 午前9時15分金島駅発、9時50分スカイテルメ渋川、10時15分渋川老人福祉センター着。帰りは午後2時

セ

ンター発

〈健康相談〉

とき 1月14日(木)午後1時30分

ところ 渋川老人福祉センター

医師 塚越秀男さん(渋川/御蔭)

〈2月の休館日〉

1日(月)、8日(月)、12日(金)、15日(月)、22日(月)

スポーツ

スポーツ医科学講演会

体育課 ☎22-104

とき 1月26日(火)午後7時

ところ 赤城公民館講堂

内容 栄養士の観点からスポーツとの関係を考える講演

「成長期におけるスポーツと栄養」

講師 野口泰子さん(日本栄養士連盟会長)

対象者 スポーツ指導者、スポーツ愛好者、一般市民

参加料 無料

申込方法 電話で体育課または赤城公民館(☎22-214)

へ 申込期限 1月20日(水)(土・日曜日、祝日は除く)

とき 2月14日(日)午前10時30分
ところ 丸沼高原スキー場(片品村)
競技種目 下表のとおり
参加資格 市内在住・在勤・在学の人または市内のスポーツ団体加入者
参加料 ▽小・中学生11、



市民スポーツ祭冬季大会
スキー競技会参加者募集
体育課 ☎22104

「はばたけ群馬観光博覧会」
春を楽しむ!いちご狩り
ろうばい鑑賞ツアー

市観光協会が県観光国際協会と共催する、魅力ある観光名所を巡るバスツアー。子持地区で白井宿の歴史散策や車窓からのロウバイを鑑賞したあとで、赤城地区で旬のイチゴと温泉を満喫してもらいます。

とき 2月19日(金)午前9時20分受付
集合場所 エクセルイン渋川(JR渋川駅前・駐車場完備)

コース 道の駅こもち(白井宿散策)、ロウバイの郷こもち(車窓鑑賞)、おふくろ亭(昼食)、赤城樽いちご園(イチゴ食べ放題)、ユートピア赤城(温泉入浴)、解散(午後4時30分ごろ)

定員 40人(先着順)
※参加者が25人に満たない場合は中止になります。

参加料 1人6,200円(小学生以下は6,000円)

申込・問い合わせ先 電話、はがき、ファックス、Eメールで参加者全員の氏名、住所、年齢、性別、電話番号を県観光国際協会(〒371-0026・前橋市大手町2-1-1・☎027-243-7273・FAX 027-243-7275・✉gtia@gtia.jp)へ
申込期限 2月1日(月)

その他 昼食は用意します。入浴用のタオルなどは各自持参してください

市民スキー大会(大回転)		
対象	種別	
小学生	低・高学年男女の部	
中学生	男女の部	
一般	男子	10・20・30・40・50歳代・60歳以上の各部
	女子	

000円 ▽高校生・一般11、500円(当日集めます)
申込方法 はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、学校名または勤務先、出場種目を明記し、直接または郵送で市体育協会スキー部飯塚弘孝さん宅(〒377-0008・渋川(長塚町)1812・☎233731)へ

市民家庭スポーツの日
体育課 ☎22104
1月の市民家庭スポーツの日(毎月第2日曜日)は、子持社会体育館のサブアリーナとランニングコースを無料開放します。
とき 1月10日(日)午前10時〜午後3時
※当日は、体育指導委員2人が、利用者の要望により指導や助言を行います。

申込期限 1月31日(日)(当日会場でも受け付けます)
その他 当日午前8時30分から、レストラン「とんふあん」内でゼッケンを交付します

- 伊香保総合支所 ☎72-3155 □ 赤城総合支所 ☎56-2211
 □ 小野上総合支所 ☎59-2111 □ 北橘総合支所 ☎52-2111
 □ 子持総合支所 ☎24-1211

公民館

楽・楽ソーイング



いろいろな着こなしを楽しめます

渋川公民館 ☎220999
 とき 1月19日(火)午前9時30分～正午
 ところ 渋川公民館(第二庁舎)
 内容 ニット生地を使い、簡単にチュニック(丈の短いワンピース)を作ります
 講師 荒井宏子さん(渋川/下郷)
 定員 12人(超えた場合は抽せん)
 参加料 1,050円(材料費・1月15日(金)までに窓口へ)
 持参するもの 筆記用具
 申込方法 電話か窓口へ
 申込期間 1月6日(水)～8日(金)午前8時30分～午後5時(8日(金)は正午まで)

その他 作品のサイズはM・L(フリーサイズ)となります
 ※見本が事務室前にあります。

野外撮影カメラ教室

渋川公民館 ☎220999
 とき 1月21日(木)午後1時出発(午後7時帰着予定)
 集合場所 市役所第二庁舎西側駐車場
 交通手段 市マイクロボス
 内容 太田市方面(金山城趾・北部運動公園のイルミネーション)に向き、野外撮影を中心に実践で写真の撮り方を学びます
 講師 小畑典章さん(渋川/坂下町)
 定員 19人(超えた場合は抽せん)
 参加料 300円(保険料、駐車場代など・1月18日(月)までに窓口へ)
 持参するもの カメラ(一眼レフタイプ)・三脚
 申込方法 電話か窓口へ
 申込期間 1月6日(水)～8日(金)午前8時30分～午後5時(8日(金)は正午まで)
 その他 当日撮影した写真の講習会を2月3日(水)午後6時30分から行います

ゼロからの韓国語

渋川東部公民館 ☎24321
 とき 1月28日(木)～3月18日(木)の毎週木曜日午後7時～8時30分(2月11日(祝)、3月11日(木)を除く・計6回)
 ところ 渋川東部公民館(中央公民館内)
 内容 韓国語の読み書きを学び旅行会話などを習得します
 講師 山口容姫さん(吉岡町)
 定員 20人(超えた場合は抽せん)
 参加料 1,700円(教材費・1月21日(木)までに窓口へ)
 持参するもの 筆記用具
 申込方法 電話か窓口へ
 申込期間 1月12日(火)～14日(木)午前8時30分～午後5時

砂絵で遊ぼう

渋川東部公民館 ☎24321
 とき 1月23日(土)、30日(土)、2月13日(土)午前10時～正午(計3回)
 ところ 渋川東部公民館(中央公民館内)
 内容 さまざまな色の砂を使って自分だけの砂絵を作ります

白バラのミニスカーフ

渋川東部公民館 ☎24321
 とき 2月3日(水)、10日(水)、17日(水)午後1時30分～午後3時30分(計3回)
 ところ 渋川東部公民館(中央公民館内)
 内容 かぎ針を使って、毛糸の白バラをあしらった春のスカーフを編みます
 講師 明石美也子さん(吹屋)
 定員 20人(超えた場合は抽せん)
 参加料 1,700円(材料費・1月26日(火)までに窓口へ)
 持参するもの かぎ針3号、とじ針、はさみ、筆記用具
 申込方法 電話か窓口へ
 申込期間 1月13日(水)～14日(木)午前8時30分～午後5時

渋川東部公民館
新春作品展

渋川東部公民館 ☎24321
渋川東部公民館地区の皆さんが丹精込めて作りあげた絵画、書道、手芸などの作品を展示します。

とき 1月16日(土)～22日(金) 午前10時～午後4時(22日(金)は正午まで)

ところ 渋川東部公民館(中央公民館内)

おひなさま
プチアレンジ

渋川東部公民館 ☎24321
とき 2月5日(金)午前10時～正午

ところ 渋川東部公民館(中央公民館内)

内容 プリザーブドフラワー(生花を特殊加工したもの)に小さなひな人形を飾り付けて、かわいい置物を作ります

講師 板倉みゆきさん(金井)



春らしい置物が出来ます

平成22年度
「わくわく子持塾」講師募集

子持公民館 ☎27780

平成22年度の自主企画生涯学習講座「わくわく子持塾」講師を募集しています。あなたも講師になって得意なことを教えてみませんか。

この講座は、講師と受講生が協力し、学習内容の検討や教室の運営をしていくものです。資格は問いませんので、やる気のある人、個性的な講座の企画をお待ちしています。

指導内容 生涯学習全般(競技スポーツは除く)や日曜大工、護身術、大道芸、占い、マジック、体操など

※営業による塾・教室などへの生徒勧誘や高額な用具および材料の販売を目的とした講座はできません。

指導時間 1回2時間程度(最高10回まで)

指導料 受講生1人(組)1,000円

講師助手 必要に応じて複数でも可

助手指導料 なし

申込方法 所定の申込書(各公民館にあります)に必要事項を記入し、郵送、ファックスまたは持参で子持公民館(〒377-0292・吹屋380-1・FAX ☎8204)へ

申込期限 1月29日(金)(必着)

その他 受講生の募集、会場予約は公民館が行います。受講生が5人未満の場合は中止になります

図書館

ミレーの世界
創作人形展

市立図書館 ☎20644

とき 1月10日(日)～31日(日) 午前9時～午後6時(土・日曜日、祝日は午後5時まで・月曜日と12日(火)、28日(木)は休館)

ところ 1階玄関ロビー

内容 岡崎喜子さん(渋川/明保野)が制作した創作人形の

定員 20人(超えた場合は抽せん)

参加料 2,000円(材料費)

・1月26日(火)までに窓口へ

申込方法 電話か窓口へ

申込期間 1月13日(水)～14日(木)午前8時30分～午後5時

子ども映画会

市立図書館 ☎20644

とき 1月9日(土)午後2時

ところ 2階視聴覚室

内容 「白いぼん」 「きりの中のぶらんこ」 「白雪姫」

入場料 無料

萌えの子おはなし会

市立図書館 ☎20644

とき 1月16日(土)午後2時

ところ 1階こども文庫

内容 ▽絵本Ⅱ「おじいさんと10ぴきのおばけ」とうさんはタツノオトシゴ」 ▽紙

展示会
入場料 無料

映画鑑賞会

市立図書館 ☎20644

とき 1月17日(日)午後2時

ところ 2階視聴覚室

内容 「麦の穂をゆらす風」(監督:ケン・ローチ/主演:キリアン・マーフィー・2006年・アイルランド・イギリス・ドイツ・イタリア・スペイン映画)

入場料 無料



芝居Ⅱ「山のみんなのおもつき」
入場料 無料

インフルエンザが流行しています

うがい、手洗い、マスクの着用を心掛けましょう

【健康おやつ講習会】

市食改推渋川地区では、健康おやつ講習会を開催します。

子どもにとって「おやつ」は、気分転換や楽しみだけでなく、3度の食事では不足しがちな栄養素を補うという大切な役割があります。食に関する多岐にわたる教育である「食育」について考え、おやつのあり方を見直してみよう。



- **とき** 2月9日(火)午前9時30分～午後1時ごろ(受付は午前9時)
- **ところ** 渋川ほっとプラザ2階調理室
- **内容** ▷講話＝おやつの意味と選び方について ▷調理実習＝不足しがちな栄養素を取り入れる工夫や地域で収穫された食材を利用したおやつ作り
- **対象者** 市内在住・在勤で健康に関心がある人
- **定員** 30人(先着順)
- **参加料** 300円(材料費)
- **持参するもの** エプロン、三角きん、筆記用具
- **申込方法** 電話が直接渋川保健センター(☎251321)または各地区の食生活改善推進員へ
- **申込期間** 1月5日(火)～29日(金)

市では、骨粗しょう症予防のため、骨密度検診を行っています。骨粗しょう症は、骨の密度が低下し、骨折しやすくなる病気です。この機会に検診を受けて自分の骨密度を知り、生活習慣を見直しましょう。

既に受診の申し込みをしている人には、受診券(はがき)を2月上旬に郵送します。

なお、22ページに掲載している「平成22年度各種健康調査・各種検診希望調査票」で骨密度検診を申し込む人の検

診は、平成23年3月に実施します。

とき・ところ 別表のとおり

内容 超音波によるかかとの骨密度測定、結果説明、骨粗しょう症予防のための栄養と日常生活の話

対象者 市内在住で、今年度中(3月31日まで)に30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる女性

個人負担金 500円

※生活保護世帯と市民税非課税世帯の人は無料です。事前

申し込みは1月29日までに

3月に市内6会場で8日間実施

骨密度検診で生活習慣の見直しを

に渋川保健センター(第二庁舎)へ申し出てください。

申込方法 電話が直接渋川保健センター(☎251321)へ

申込期間 1月29日(金)

(別表) 骨密度検診日程(3月)		
実施日	会場	受付時間
2日(火)	赤城保健センター	午前9時30分～11時
5日(金)	子持保健センター	午前9時30分～11時
9日(火)	小野上保健センター	午前10時～10時30分
9日(火)	伊香保保健福祉センター	午後1時30分～2時
12日(金)	北橋保健センター	午前9時30分～10時30分
16日(火)	渋川保健センター(第二庁舎1階)	午前9時～10時30分 午後1時～1時30分
17日(水)		
18日(木)		

大腸がん検診

検査容器の提出は、もうお済みですか？

今年度大腸がん検診を申し込んでいて、まだ容器の提出をしていない人は、次の日程で回収しますので、忘れずに提出してください。

とき 1月14日(木)、15日(金)、19日(火)、20日(水)、22日(金)、25日(月)～27日(水)、

2月1日(月)～5日(金)午前8時30分～11時

ところ 渋川保健センター(第二庁舎)

持参するもの 自己負担金(500円)、採便容器、受診票、健康手帳(持っている人)

詳しくは、渋川保健センター(☎251321)へ。

期限は
2月5日まで

22年度各種健診を受けましょう

**受診希望者は1月31日までに
調査表を提出してください**

対象者は20歳以上／調査表は1月中旬に郵送

この調査は、平成22年度に市が行う結核検診(胸部レントゲン検診)や各種健康診査、各種がん検診などの受診希望者を把握し、受診票を作成するために、20歳

以上の人を対象に実施します。
1月中旬に世帯ごとに郵送される「各種健康診査・各種検診希望調査票(提出用)」に記入のうえ提出してください。

未提出の場合は、希望がないものと見なし、受診票は送付しませんので注意してください。
検診等の種類・実施方法など
左表のとおり



健診等の種類・実施方法など				
健診等の種類	対象年齢等	内 容	実施期間等	個人負担金
結核検診	65歳以上	胸部レントゲン撮影	5月～6月を予定	無 料
胸部レントゲン検診	40歳以上 64歳以下			
後期高齢者健康診査	長寿(後期高齢者)医療制度加入者	血液検査、 血圧測定、 尿検査など	6月～11月を予定	500円
わかば健康診査	20歳以上 39歳以下		毎月1回を予定	
胃がん検診	40歳以上	胃 ^{エックス} 部X線撮影	6月～11月を予定	1,000円
大腸がん検診		便潜血反応検査	※胃がん・大腸がん検診は、同日実施となります。	500円
前立せんがん検診	50歳以上の男性	血液検査		
腹部超音波検診	40歳以上	超音波検査	7月～2月を予定 ※日時は指定します。	3,000円
子宮がん検診	20歳以上の女性のうち偶数年齢になる女性	子宮の細胞検査	7月～2月を予定 ※子宮がん検診は集団検診と個別検診が選択できます。 ※乳・甲状腺がん検診と集団での子宮がん検診は同日実施となります。	1,000円
乳房X線撮影併用乳・甲状腺がん検診	40歳以上の女性のうち偶数年齢になる女性	視触診、乳房X線撮影		2,000円
歯周疾患検診	30・40・50・60・70歳になる人	口くう内診査	6月～1月を予定 ※指定医療機関で実施。	1,000円
骨密度検診	30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の女性	超音波によるかかとの骨密度測定	平成23年3月を予定 ※日時は指定します。	500円

※対象年齢は平成22年度末(平成23年3月31日)現在の年齢です。

※生活保護世帯および市民税非課税世帯の人は、個人負担金が免除になります。必ず事前に渋川保健センターで申請してください。

※偶数年齢とは40・42・44・・・と年度年齢で偶数の年齢になる人です。

提出期限 各種健康診査・各種検診希望調査票(提出用)に記入し、同封の返信用封筒に入れて渋川保健センターへ郵送(切手は不要)
提出期限 1月31日(日)
※特定健診は、それぞれ加入している医療保険者(健康保険組合、国民健康保険、政府管掌健康保険など)が実施しますので、希望調査は行いません。
詳しくは、渋川保健センター(☎⑤1321)へ。

勤務形態：3交替制、週休2日 **休暇制度**：年次有給休暇20日、夏期および特別休暇有り
加入保険：市町村共済組合

健康の道しるべ

鼠径ヘルニアについて

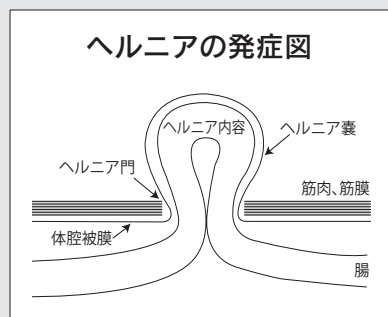
外 科 医 師
 渋川総合病院

ヘルニアとは、体腔^{たいこう}の内側を覆っている膜（腹膜や胸膜など）が、先天的または後天的に生じた裂け目から臓器や組織を包んだまま袋状に逸脱した状態をいいます。

ヘルニアは、逸脱部位である「ヘルニア門」、逸脱臓器である「ヘルニア内容」、それを袋のように覆う体腔被膜からなる「ヘルニア嚢」の3要素で構成され（下図参照）、体腔外でおこる外ヘルニアと体腔内でおこる内ヘルニアとに分かれます。外ヘルニアには、鼠径ヘルニア（脱腸）や大腿ヘルニア、臍ヘルニアなどがあり、内ヘルニアには、横隔膜ヘルニアなどの腹腔内ヘルニアが含まれます。また、発生原因によって、先天性や後天性、さらに術後性や外傷性ヘルニアに分けられます。

全ヘルニア中、最も頻度の高いのが鼠径ヘルニアで、股（腿）^{もも}の付け根の少しくぼんだ線より上にある三角状の鼠径部に出るヘルニアです。ヘルニア門の違いから内と外に区別され、どちらにも、鼠径部にヘルニア嚢が存在します。

また、小児と成人の鼠径ヘルニアは発生要因が異なり、小児の場合は、精巣や卵巣導管が胎生期に下降してできる腹膜鞘^{しやうまく}状突起の開存が原因と考えられています。成人の場合は、神経障害や持続的な腹圧上昇により、腹壁がゆるんで発生し、治療には手術が必要です。その成因の違いから、小児では、ヘルニア嚢の処理のみ行いますが、成人では鼠径管後壁の補強が必要となります。



ヘルニアの発症図

市立渋川総合病院

☎22-4111

看護師募集中／

看護師・准看護師を募集しています。地方公務員の身分となり、市職員給与規定により給与を支給。

美術作品介绍

屋外芸術の探訪 vol.9

この作品は、総合公園の成人の森に設置され、立方体の石が積み重ねられてできています。見る方向により「人」または「入」という漢字の形を読み取れます。

かつて旧渋川市の成人式が行われたこの場所に、作者が「人これより入り、豊かな人生を築く、みどりの里とならんことを」と願いを込めて設置したこの作品は、皆さんが通るのを待っています。

作者は、広島県生まれの彫刻家。石を素材としたモニュメントを数多く制作しています。



「人入」(ひとはいる)

作者：空 充秋(そらみつあき)

素材：白御影石 高さ：450cm

しぶかわ

フォト

このコーナーでは、皆さんが撮影した季節感のある風景や催し物などの写真(特定の人物を中心にしているものは除く)を掲載します。写真1枚にタイトルと撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記して広報情報課(〒377-8501・石原80・☎kouchou@city.shibukawa.gunma.jp)へ。



【幸福を招く新春の輝き】

撮影場所：北橘町八崎地内

撮影日：平成21年1月23日

撮影者：広報情報課員

表紙の写真 夢と楽しさいっぱいの、渋川スカイランドパークの人気アトラクション「サンパバルーン」に乗り、元気に遊ぶ今年主役のトラくん。2010年が皆さんにとって楽しく、元気で、希望に満ちあふれた素晴らしい年になりますようお祈りいたします。

うぶごえ(11月生まれ)

男の子 21人

女の子 25人



広報しぶかわ

〒377-8501 群馬県渋川市石原80

平成22年1月1日発行 通巻93号 TEL 22-2111 FAX 24-6541

市ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.gunma.jp/>

印刷／朝日印刷工業株式会社